

第2章 環境情報の提供及び普及啓発

1 環境情報センターの運営

県では、県民の自然や生活環境問題に関する知識・情報の普及や環境に関する学習や活動を支援する拠点として、平成3年8月に宮崎県環境情報センターを設置しました。平成18年7月には県立図書館内に移転し、同館と連携しながら、環境に関する情報の収集・提供、環境講座・出前研修の開催、環境保全アドバイザーの派遣等各種研修会への支援等の業務を行っています。

平成25年度のセンター利用者数は、37,004人となっています。

■所在地： 宮崎市船塚3-210-1 宮崎県立図書館1F
TEL：0985-23-0322 FAX：0985-26-4720
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center>
E-mail：kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp

2 環境月間及び環境の日の取組

国は、平成3年度から6月を「環境月間」として設定し、国、地方公共団体、民間団体等により全国規模での各種の普及啓発事業が実施されています。さらに、平成5年11月に制定された環境基本法で、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、6月5日が「環境の日」と定められました。

平成25年度の環境の日及び環境月間に、県が実施した主な行事は次表のとおりです。

環境月間に県が実施した主な行事（平成25年度）

行 事 名	概 要	参加(対象)	期 間
ノーマイカーデー	県民に広く通勤時のマイカー利用自粛等の呼びかけ	県民	6月1日 ～30日
環境の日キャンペーン	街頭で、啓発用チラシ、環境グッズ（廃油処理袋）等を配布	県内8か所	6月5日他
ライトダウン2013	ライトアップ施設及び家庭における一斉消灯の呼びかけ	県内	6月21日 ～7月7日
環境月間に関する広報	ラジオ、テレビ、広報誌等による環境月間の周知・啓発	県民	6月中
〃	懸垂幕による環境月間の意識啓発	県庁舎 (7号館)	6月1日 ～30日

3 「ecoみやざき」の発行

環境に関する施策や話題、県内の環境保全の取組などを紹介した啓発情報誌「ecoみやざき」を発行しています。平成25年度は、年3回、各8,000部発行し、学校や事業所、団体等に配布しました。

4 地域環境保全功労者表彰（県知事表彰）

県では、昭和55年から、地域の環境保全に関し、特に顕著な功労のあった個人や事業者を表彰しており、平成26年3月までに332の個人・団体を表彰しています。

平成25年度は、下記の2個人、8団体が受賞され、6月27日に県庁本館2階講堂において表彰式を行いました。

【平成25年度受賞者】

区分名	個人・団体名	主な活動内容
個人	森末 富子	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年頃から自治会などでごみ分別のアドバイスをを行うとともに、自宅でもごみを出さない暮らしを目指しダンボールコンポストや剪定枝、雑草などを堆肥化する活動に取り組んできた。 ・宮崎県地球温暖化防止活動推進員や環境省3R推進マイスターなどにも属し、小学生へごみ減量の指導をしてきた。
	池田 たえ子	<ul style="list-style-type: none"> ・平成9年頃から高鍋湿原ボランティアとして湿原の保全活動（除草作業等）を行い、希少な動植物の保全に努めてきた。 ・県内外からの多くの来場者に対して、湿原のボランティアガイドを務める一方で、高鍋湿原ガイド養成講座の講師としてガイドの育成にも貢献してきた。
団体	特定非営利活動法人 ひむかおひさまネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムの設置を検討している方に対して、設置した者の経験を通じたアドバイスや情報提供を行ってきた。 ・県内各地で、新エネルギーや省エネルギーの講座及び相談会や、親子を対象にしたミニソーラーカー政策教室を開催してきた。
	国富町高齢者クラブ 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・約50年近く、町内の公共施設の清掃や花壇の手入れを行ってきた。所属するクラブごとに美化活動に取り組み、中にはほうきや雑巾を学校へ贈呈するクラブもある。 ・クラブの地域美化活動により、環境美化だけでなく、地域住民の自治意識の啓発にも貢献している。
	犬の馬場公園愛護会	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の4か所の公園で、草刈やトイレを中心とした清掃に取り組んできた。 ・高齢者中心であるが、年間に130回程度の活動を行っており、地域住民の安全、安心、快適な公園利用に貢献してきた。
	特定非営利活動法人 ひむかり山自然塾	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度から、生き物を題材とした環境教育指導者である「プロジェクトワイルドエデュケーター」を養成する講習会を開催してきた。 ・一ツ瀬川の河口の干潟で環境教育を実施し、植林・植樹により「昆虫の森」などの環境教育の場を作ってきた。
	大塚台西3丁目地区 ひいらぎ会	<ul style="list-style-type: none"> ・約10年以上、地域の公共施設の環境整備と美化活動に取り組んできた。 ・地域にある2か所の児童公園では、年間を通じて除草除去や花壇の植え替えを行い、子どもたちの奉仕の精神を培う面でも貢献している。
	社会福祉法人真光会 梅北保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度エコ保育所認定園。 ・毎日、ゴミを拾いながら散歩を行うとともに、廃材を利用した手作りのプレゼントを持って地域の方を訪問するボランティアにも取り組んできた。 ・ペットボトルキャップの回収により、1年間に11人分のワクチンを提供した。
体	清武社会福祉会 南今泉保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年年度エコ保育園認定園。 ・月1回「エコ活動の日」として、園周辺のゴミ拾いを行うとともに、廃油を使ったロウソク作りや芋のつるを使ったクリスマスリース作りなどを行い、展示した。 ・県の環境保全アドバイザーを活用して、自然物を使った遊びや制作を学んだ。
	南九州コカ・コーラ ボトリング株式会社 グリーンパークえびの	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に優しい資源循環型の工場で、園内の花の肥料には工場で排出される産業廃棄物を再利用しており、工場見学を通して、環境について学べる施設となっている。 ・夏休みには、15程度の環境学習を実施し、廃油を利用した石けん作りやエコ・バスツアーを開催するなど、児童に環境について考える機会を提供している。